

# 横浜市テニス



# 協会ニュース

## YOKOHAMA TENNIS ASSOCIATION NEWS

発行 横浜市テニス協会 総務部 〒231-0028 横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアビル306号 TEL045-663-0557 FAX045-663-0558

### 第48回 横浜市民体育大会テニス競技シングルス

#### ◆18種目1,425選手。ハイレベルな戦いで最後は気力の勝負◆

令和5年度シングルス大会は、10月1日(土)～12月24日(日)、寒暖の差の大きいなか横浜市営各コートにおいて開催し、日程通り無事に終了いたしました。今回は前年度より25名多い1425名の方にエントリー頂きました。参加者が増え大会を盛り上げて頂きありがとうございます。

期間中雨天による中止が一日あり、一般男子の選手の方々には日程変更で大変な思いをさせていただきましたこと、この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

今大会、一般男子では新鋭の石井凌馬選手 (TeamYUKA) が水淵功誠選手 (在勤) を26,63,12-10の接戦で下し初優勝、一般女子では魚住 蘭選手 (在住) が市瀬和奈選手 (ラック港南台TG) を61,75で下し初優勝しました。一方、年齢別3種目で新しい優勝者が誕生しました。男子35歳以上林雄一郎選手 (在住)、女子40歳以上井根渚選手

(Naturally Tennis)、男子70歳以上平田秀俊選手 (在住) です。優勝、準優勝の栄冠を手に入れた選手の皆様、おめでとうございます。どの試合もハイレベルな戦いで最後は気力の勝負だったと思います。また、河村一成選手 (ラック港南台TG) が男子40歳以上で優勝し、通算9連覇中です。

今後について、長期日程の中でドロー数の少ない種目についてはなるべく間を空けない日程を検討します。更に同会場で他種目との交流も深められればと考えております。限られたコート状況下での大会運営ですが、多くの方にテニスを楽しんで頂けたら幸いです。

最後に選手の皆様と大会運営にご尽力頂きました運営委員、JTA公認審判員の方々に改めてお礼申し上げます。

(シングルスディレクター 関 宏一)

#### 一般男子優勝 さらなる高みを目指して 石井 凌馬 (TeamYUKA)

まず初めに今大会を開催、運営して下さいました横浜市テニス協会の皆様に深く感謝申し上げます。

地元である横浜市民大会が好きで、小2の夏に父と組んだ親子ダブルス、中1の夏に出た中学生大会、そして今回、高校最後に一般シングルスでも優勝し、小中高での横浜市民優勝が達成出来て嬉しいです。

秋の鹿児島国体が終わってから久々の試合でしたが、やはり横浜市民はレベルが高く、最後までタフな試合の連続でした。決勝戦はファーストセットを取られ、「負けるなら打ち切って負けよう!」と決めていたので、その気持ちが、セカンドセットの挽回と、ファイナルタイブレークでのマッチポイントを決めたフォアの逆クロスに繋がったと思います。対戦した選手の皆さんありがとうございます。

最後に、変わらず応援してくれている両親、TeamYUKAのコーチ、練習してくれる選手達、いつもありがとうございます。大学進学後もさらなる高みを目指して頑張ります!



一般男子 / 石井選手 (優勝)、水淵選手 (準優勝)

#### 一般女子優勝 念願の優勝 魚住 蘭 (在住)

今回は3回目の出場でした。過去2回はどちらも3位という結果で今年こそはという思いで挑みましたが、緊張の場面や心が折れそうになった瞬間もありましたが、心強い応援のおかげで優勝することができました。また優勝して喜んでくれている両親の笑顔は何年振りかに見ることができ、安堵する気持ちと同

時に今回の結果を糧にこれからも練習に励み、楽しくテニスをしていきたいと思ひます。

最後に今大会の運営に携わった協会役員及び関係者の皆様に感謝申し上げます。



一般女子 / 魚住選手 (優勝)、市瀬選手 (準優勝)

#### 男子35歳以上優勝 初の決勝の舞台 林 雄一郎 (在住)

まず初めに、今大会を運営して下さいました関係者の皆様に感謝申し上げます。また、普段練習してくれる友人、スクールのクラスメイト、コーチ、会社テニス部のメンバー、そして家族のおかげでテニスを楽しんで続けることができたことが、今回の優勝につながりました。ありがとうございます。

横浜市の試合には何度か出場させていただいていますが、初めて決勝の舞台に立てるといことで嬉しい気持ち、誇らしい気持ちで決勝戦当日を迎えました。

序盤は緊張していましたが、徐々にエンジンがかかりボールを全力で追いかけて、常に一球一球に集中できていて、気付いたら勝っていた、というのが正直な感想です。大会を通じ、純粋にテニスを、そして試合中の相手とのやり取りを楽しめたことが良かったのだ



男子35歳以上 / 林選手 (優勝)、吉川選手 (準優勝)

と思います。これからもテニスを続け、再び決勝の舞台に立てるように頑張ります。

#### 男子40歳以上優勝 ペアで優勝! 河村 一成 (ラック港南台TG)

初めに本大会の運営に関わって下さった横浜市テニス協会の役員・関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今大会はこれまでの優勝とは少し違い、特別な喜びを感じる優勝となりました。それはダブルスでペアを組む池田さんとペア優勝が出来たから!池田さんは怪我をして試合どころかまともにテニスも出来ないかもと言われてから、このレベルの高い横浜市民シングルスで優勝してしまうほどまで戻ってこられた事に感無量の思いでした。

先に優勝を決めたのは池田さん。その後、同じコートに私が入ることになり、妙な緊張すら感じる中、一緒に優勝するんだと気合いを入れ決勝戦を戦う事が出来ました。本当に嬉しかった。いつも仲間や応援してくれる家族、みんながいるから頑張れると改めて感じられる大会になりました。ありがとうございます。



男子40歳以上 / 河村選手 (優勝)、伊瀬選手 (準優勝)

#### 男子45歳以上優勝 感謝しかありません 池田 孝郎 (在勤)

ダブルスと違い、シングルスは1人での戦いです。久しくシングルスは出てなかったのもありますが、体力、メンタルともに初戦から厳しく、足への負担も重く、ケガが再発する可能性もありました。不安の中の試合でした。強豪揃いの中、一戦一戦を何とか勝ち上がる事ができ、何事も無く無事に試合を終えら

れたことが何よりでした。

決勝までは長い道のりでしたが、最後まで無事に頑張ってくれた自分の足と、ここまで支えてくれた家族、希望が丘テニスクラブ・スクールの皆さん、体のメンテナンスしてくれた先生、全ての方に感謝です。本当にありがとうございました。これからも体が動く限り、挑戦していきたいと思ひます。

最後になりますが、本大会を運営して頂きました横浜市テニス協会の皆様に厚く御礼申し上げます。



男子45歳以上/池田選手(優勝)、代田選手(準優勝)

**男子50歳以上優勝 最高の結果**  
伊藤 俊介(横浜市役所)

3年前の本大会をテニス肘の影響で途中棄権し、それ以来の出場となりました。2年以上シングルスはやっていなかったのですが、大会前は勝てるか不安の方が大きかったのですが、終わってみれば優勝という最高の結果が待っていました。この結果は、練習に付き合ってくれた仲間や息子達、応援に来てくれた仲間のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

横浜市民大会は古くからのテニス仲間が多く出場し、今回も途中で何人かと対戦しました。そういった懐かしい面々と試合が出来るのも、本大会の魅力ではないか感じています。

最後になりましたが、横浜市テニス協会並びに大会運営に携わってくださった関係者の皆様に感謝申し上げます。



男子50歳以上/伊藤選手(優勝)、松島選手(準優勝)

**男子55歳以上優勝 思い出を噛みしめて**  
長田 祐治(ケンウッドTC)

毎年思いますが、横浜市民大会は各カテゴリーに多数の参加者がいて驚きです。人気絶えず継続されているこの大会を目標にしているの、優勝できて本当に嬉しいです。

昨年末に、長くダブルスのパートナーでもあり、五大都市や都市間交流で一緒に戦った 勝間 豊さんがお亡くなりになりました。先日の横浜市テニス協会100周年記念式典でも元気な姿を見ていたので残念で仕方ありません。大会会場に行けば、色々なことが込み上げ言葉はありません。これからも会場に行き思い出を噛みしめたいと思ひます。

最後になりますが、毎年このように大きな大会で気持ちよくプレーできるのも大会関係者の皆様のおかげです。感謝申し上げます。



男子55歳以上/長田選手(優勝)、臼井選手(準優勝)

**男子60歳以上優勝 6年ぶり2度目の優勝**  
古城門 晋(在勤)

先ず改めて本大会の企画・運営に関わってくださった関係者の皆様にお礼申し上げます。大会2日目、長浜公園テニスコートでは試合がナイターに入り冬の中、最終試合に迄お付き合いいただきましてありがとうございました。

2022年大会準決勝完敗の雪辱に向けて春先よりダイエットを敢行、6カ月間で-10kg絞って参戦しました。ベットの5本分を降ろした体の切れは見違える程改善しました。

2023年大会ではBest8中3名のシード選手のWO等ラッキーな点も諸々ありましたが6年ぶり2度目の優勝を素直に喜びたいと思ひます。2024年大会に向けて、再びこのステージに戻れる様に1年間課題を地道にクリアし参戦したいと思ひます。



男子60歳以上/古城門選手(優勝)

**男子65歳以上優勝 無意識を意識化に変えて**  
山下 修二(在住)

初めに寒中、運営にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年は春から怪我が多く、今大会も足首の捻挫・腰痛・そして孫の抱っこやり過ぎ(笑)で腕の痛み等をかかえながらでした。そのお陰で丁寧なテニスを心掛け、無意識でプレーしていた所を意識を持つ様になり、大好きなこの大会で新しい何かが見つかりました。次回も出場出来る様精進し楽しみに待ってまいります。今後ともよろしくお願い致します。



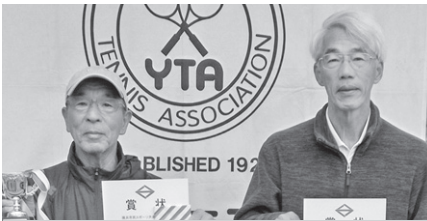
男子65歳以上/山下選手(優勝)、宮島選手(準優勝)

**男子70歳以上優勝 まだ上達すると信じ**  
平田 秀俊(在住)

横浜市テニス協会及び大会運営関係者の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。気温3°Cと寒い中でのスタートとなり、チェアアンパイアの方には特に感謝申し上げます。

初戦から厳しい試合でしたが決勝は昨年の覇者、安定したストロークと固いデンスで簡単にゲームを取らせてもらえないシーソーゲーム中、幸運にもワンブレイク差で制することができ嬉しく思ひます。対戦相手の小林様と楽しくプレイできたこと感謝申し上げます。

この優勝は、いつも指導して頂くGODAI白楽コー



男子70歳以上/平田選手(優勝)、小林選手(準優勝)

チの方々、練習に付き合っているテニスクラブ仲間、応援に駆けつけて頂いたテニス仲間の力強い声援を貰ったお陰です。心より感謝申し上げます。今年は怪我もなくテニスのできたので、これから先まだまだ上達すると信じ健康管理して来年も参加したいと思ひます。

**男子75歳以上優勝 高齢化に負けずに**  
鉢塚 修(IZUMI.T.C.)

いつの間にか、この75歳以上の高齢年代出場になりました。体調の不安もありましたが、運に恵まれ、優勝することが出来ました。大変うれしく思ひます。そして、高齢化に負けずに、がんばる気持ちが湧いてきました。ありがとうございました。



男子75歳以上/鉢塚選手(優勝)、細澤選手(準優勝)

**男子80歳以上優勝 健康と気力**  
小川 正澄(在住)

まず 始めに本大会の運営に関わって下さった横浜市テニス協会の皆様に深く感謝申し上げます。コート確保や組合せ等本当に大変なこといつも思っております。ありがとうございました。

私はこの大会に数回出場させて頂いておますが一回一回の対戦はいつもその日の身体の調子や天候等さまざまな要因により楽しさや苦しさを併せ持った状態です。

今回対戦相手のねばり強さの中ようやくの優勝という感じでした。80歳の大会にのった中での戦いはまず健康でなければ。。。として気力だどづく感じしております。テニスのおもしろさ、楽しさは格別のものであります。私も皆様と同じようにたくさんのよき仲間にも恵まれております。いつまでも長く続けたいと思っております。



男子80歳以上/小川選手(優勝)、飯塚選手(準優勝)

**女子40歳以上優勝 年齢別初挑戦**  
井根 渚(Naturally Tennis)

まず初めに、横浜市テニス協会及び大会関係者皆様に御礼申し上げます。また、いつも練習してくれているメンバーの皆様にも感謝申し上げます。

今年ダブルスに続きシングルスでも初の年齢別挑戦となりました。決勝戦ではなかなかペースが掴みず苦戦しましたが、最後まで諦めず自分のプレーを貫く事ができました。シングルスは、これから体力の面でも厳しくなってくると思ひますが、できる限り挑戦し続けられる様努力していきたいです。



女子40歳以上/井根選手(優勝)、新美選手(準優勝)

**女子45歳以上優勝** 練習につき合ってくれる仲間感謝  
池谷 綾子 (Vamos)

横浜市テニス協会及び大会関係者の皆様のご尽力に御礼申し上げます。

この大会を通じて毎年様々なタイプの方々と戦わせて頂き、それぞれのプレースタイルに対応できるように自分のテニスも進化するように努力した結果、優勝できたことを嬉しく思います。そして、練習にいつもつき合ってくれる仲間感謝します。

これからも更に上を目指してがんばります。



女子45歳以上/池谷選手(優勝)、中村選手(準優勝)

**女子50歳以上優勝** 慌てず焦らず落ち着いて  
山川 美和 (IZUMI.TC)

はじめに横浜市テニス協会及び大会運営に携わってくださった皆様に感謝申し上げます。

今大会では一試合一試合コート上で今自分に何ができるのかを考え、慌てず焦らず落ち着いて最後

の最後まで試合に挑むことができました! そして今までずっとコーチから教わっていた戦術をやっと使うことができました。

これもコーチを始めレッスン仲間、テニス仲間、遊



女子50歳以上/山川選手(優勝)、藤田選手(準優勝)

び仲間、そして家族...みんなのおかげで成し遂げることができた優勝です!

私に携わってくださっている皆さん本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします!

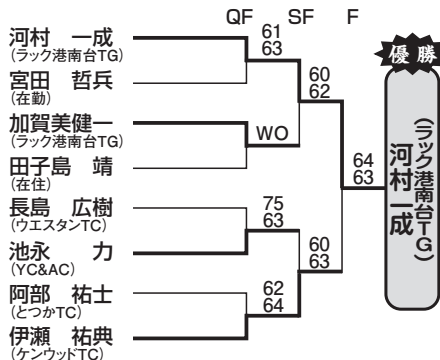
**女子55歳以上優勝** 皆様のおかげ  
信近 三恵 (下川井TC)

横浜市テニス協会並びに大会関係者の皆様、寒い中開催運営にご尽力いただき感謝いたします。

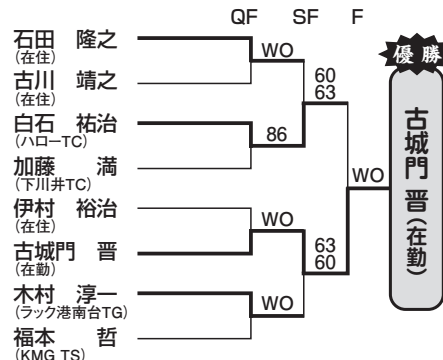
下川井TCのオーナーをはじめクラブの皆様、日ごろ一緒に練習して下さる方々、いつも応援していただき、ご自分のことは後回しに練習していただきました。

1Rから厳しい試合で、このまま負けちゃうのかな?

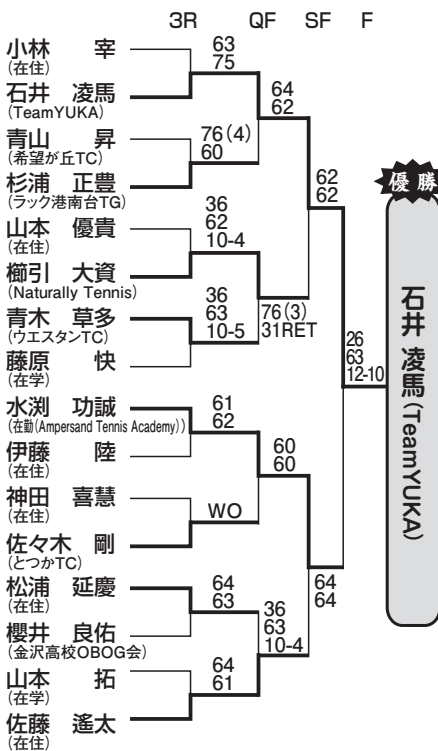
■ 男子40歳以上 ■



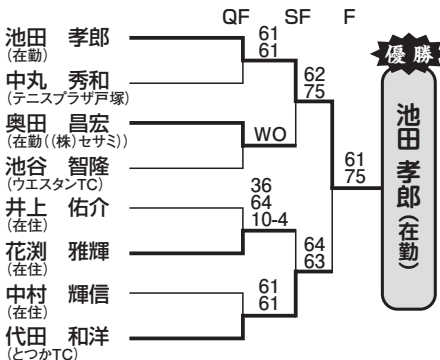
■ 男子60歳以上 ■



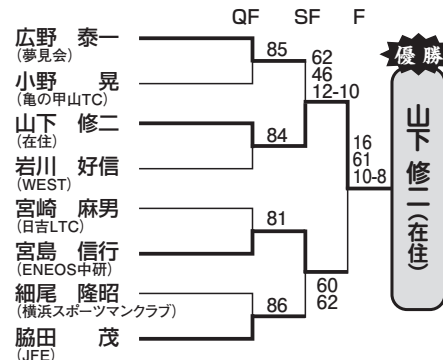
■ 一般男子 ■



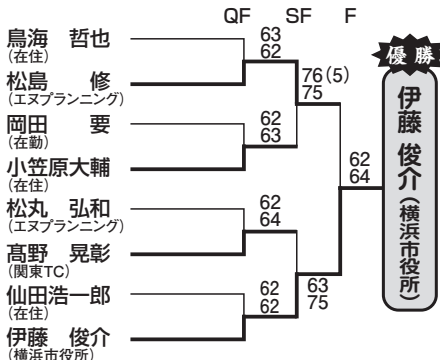
■ 男子45歳以上 ■



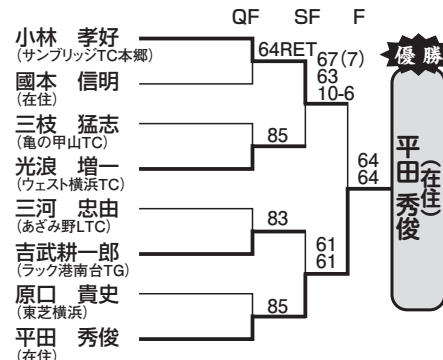
■ 男子65歳以上 ■



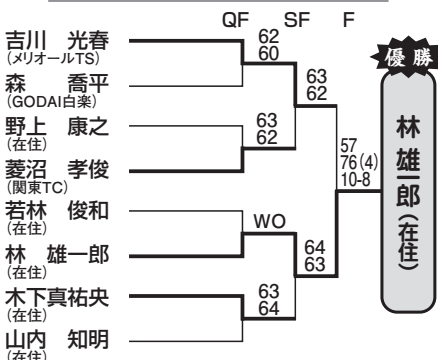
■ 男子50歳以上 ■



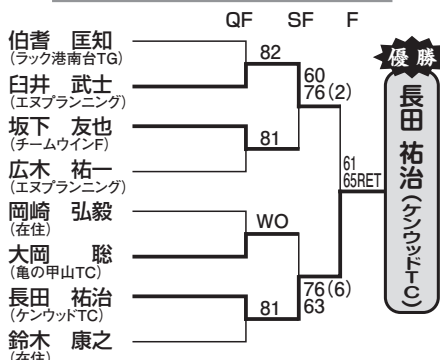
■ 男子70歳以上 ■



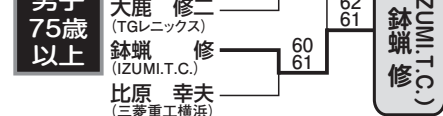
■ 男子35歳以上 ■



■ 男子55歳以上 ■



男子75歳以上



男子80歳以上



なんて思いがよぎるたび、皆さんと練習したことを思い出し自分を奮い立たせました。皆さんのお陰です。本当にありがとうございました。

技術的にも精神的にも体力的にもまだまだ不足している実感しています。これからも楽しく進化していきたいと思っています。



女子55歳以上/信近選手(優勝)、鈴木選手(準優勝)

**女子60歳以上優勝** 励ましの言葉 大久保 圭子 (下川井TC)

はじめに、いつも笑顔で選手を迎え入れ、大会を盛り上げてくださった横浜市テニス協会及び大会運営に携わってくださった皆様に心より御礼申し上げます。

前回は決勝を戦わずして優勝という結果となりましたが、それから1年間、日の出から練習OKという恵まれた環境の下川井テニスクラブで練習を積んできました。

今回優勝出来たのもいつも励ましてくれるオーナーの桜井夫妻、一緒に練習してくれる会員の皆様、そして根気よく指導を続けてくれる石川コーチのおかげです。

試合中の応援、また優勝後にたくさんの方いただいたお祝いの言葉も励みになりました。ありがとうございました。

これからも健康で楽しく、もっと良いプレーが出来るよう上を目指して練習に取り組んでいきたいと思っておりますので皆様どうぞよろしく願いいたします。



女子60歳以上/大久保選手(優勝)、中田選手(準優勝)

**女子65歳以上優勝** 目指せ85歳! 鈴木 聡子 (横浜ローンTC)

今回も大会に関わり、運営に携わってくださった多くの方々にお礼申し上げます。

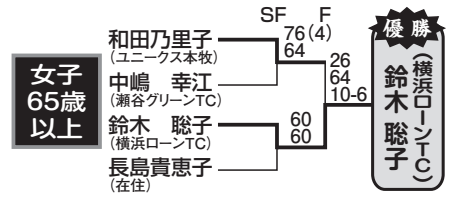
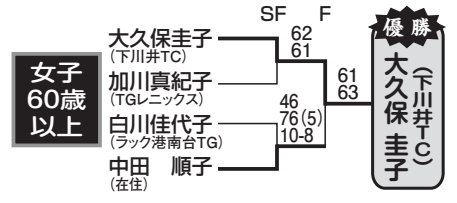
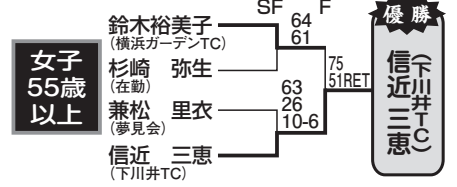
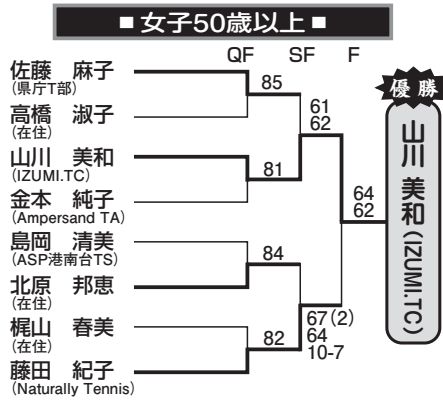
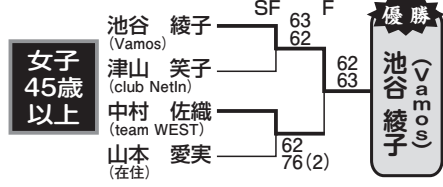
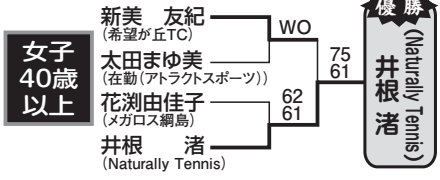
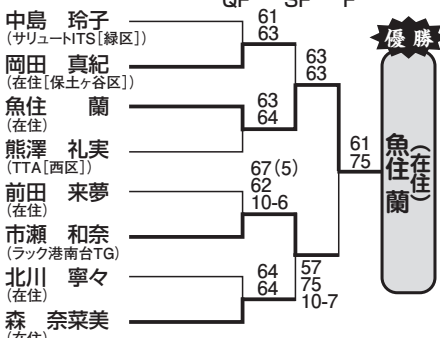
男子だけでなく女子もベテランの参加が少しずつ増えてきているのを嬉しく思います。JOPの全日本ベテランの試合では、男女とも85歳シングルの種目がありますので、目指せ85歳です!

今大会も初めて参加された方、試合自体初めて参加という方と対戦いたしました。いくつになっても健康でやる気と体力があれば挑戦できることを改めて感じました。健康であることを確認するためにもこれからも挑戦していきたいと思っております。



女子65歳以上/鈴木選手(優勝)、和田選手(準優勝)

■ 一般女子 ■



市民マスタース大会



令和5年度のマスタース大会は令和5年9月6日に市営三ツ沢公園コートで行われました。雨天が予想された日であり予報通り雨も来ましたが運良く昼食休憩時間と重なり事なきを得ました。

今大会は2019年からのコロナ禍で大会そのもの中止や感染回避の昼食支給停止など不自由な開催を迫られた後の制限なしの大会となり旧交を温める参加の皆さんの笑顔も見られました。

参加数は従来通り男女とも36名、合計72名の応募を期待していましたが男子は定員の36名の参加があったものの女子は残念ながら定員割れの26名でありました。対戦はAからDの4組に分かれて対戦するチーム対抗戦で3チームが1勝2敗の大混戦の2位グループを尻目に3勝0敗で抜け出したCチームが優勝しました。

この大会では参加者の中の最高齢者を紹介する事にしていますが今回は男子は82歳の高橋英一さん、女子は松島紀子さんでした。

終了後、参加者から昼食や会場への感想・要望等を頂きましたがそれらのご意見を踏まえ開催趣旨の「健康と生き甲斐に貢献するスポーツ大会」として充実を図って参りたいと思っております。(マスタース大会担当:川上 利勝)

テニスの日

今年度も、9月23日(土祝日)に「テニスの日」イベントを開催しました。このイベントは、横浜市スポーツクリエイションフェスティバル実行委員会と共催で実施しており、ジュニアから一般の方まで幅広くご参加いただいています。

本牧市民公園テニスコート4面を使用して実施し、午前・午後合わせて58名の方々が参加しました。当日は横浜市のテニス日本リーグ現役選手がコーチするクリニックと「ダブルスでコーチペアに挑戦!」「的あて」などの楽しみイベントを行いました。2024年度も9月23日(月祝日)本牧市民公園にて実施する予定です。夏頃に横浜市テニス協会ホームページ等で案内しますので、ご家族、ご友人をお誘いの上、お申込みくださいますようお願いいたします。皆様のご応募をお待ちしています。



# 2023年度 第44回横浜選抜室内選手権大会

2024年1月12日(金)から14日(日)の3日間横浜国際プールインドアテニスコートで開催いたしました。

一般男子シングルスは、第1シードで大会2連覇中の山本選手(Selfish)が初戦で敗れる幕開けとなりました。決勝戦は佐藤大輝選手(法政大学)と原田悠仁選手(法政大学)の先輩・後輩の対戦となり、両者譲らない攻撃的なプレースタイルでしたが、後輩の原田選手が昨年の悔しさを晴らす圧巻のプレーで初優勝を飾りました。

一般女子シングルス決勝戦は昨年同様の顔合わせとなり、賛田佳穂選手(法政大学)が山本理佳選手(GODAI白楽)を接戦の末の破り、昨年の雪辱を晴らしました。

男子45歳シングルスは昨年に引き続き岡田要選手(三菱電機)が決勝戦まで進みましたが、木村俊康選手(在住)がタイブレークの接戦のものをにし、嬉しい初優勝となりました。

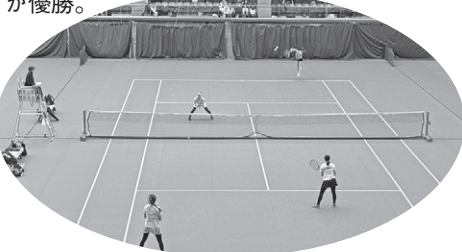
一般男子ダブルスも原田・佐藤ペア(法政大学)が市瀬兄弟(ラック港南台TG)を破り昨年のリベンジ。一般女子ダブルスは法政大学の賛田(法政大学)・矢沼(あざみ野LTT)ペアと鈴木(ASP港南台TS)・山本(GODAI白楽)との対戦。シングルスとダブルスの雪辱を果たし鈴木・山本ペアが優勝。

男子45歳ダブルスは平岡(KTC)・岡崎(リコー)が池谷(ウエスタンTC)・板橋(レニックス)を退け2連覇。

女子40歳以上ダブルス決勝戦は寺田・野口(Team Coke)ペアと小林(TGレニックス)・井根(NT)ペアの顔合わせとなり、村田・野口ペアが終始リードを保ちそのまま逃げ切り優勝となりました。

また、例年、決勝戦前に実施しているクリニックについては今回も行わず、昨年同様に表彰式後にダンロップスポーツマーケティング様、ウインザーラケットショップ様、ヨネックス様からの協賛品による抽選会を実施しました。商品数も多く、選手の応援にきた方々にも多に喜んで頂きました。

ご協賛を頂きました各企業の皆様、審判員、運営役員の皆様に改めて感謝致します。



## 一般男子シングルス

増淵 和気 (Naturally Tennis)	QF	82
竹内 健人 (足柄ローンTC)	SF	85
吉澤 悠吾 (Naturally Tennis)	F	86
佐藤 大輝 (法政大学)		86
原田 悠仁 (法政大学)		83
杉浦 正豊 (ラック港南台TG)		82
高橋 和樹 (Selfish)		85
市川 寛康 (とつかTC)		



## 一般男子ダブルス

市瀬・市瀬 (ラック港南台TG)	SF	98(7)
綿貫・村上 (Naturally Tennis・関東学院大学)	F	85
山本・高橋 (Selfish)		82
原田・佐藤 (法政大学)		

## 一般女子シングルス

山本 理佳 (GODAI白楽)	SF	86
松井七乃花 (法政第二高校)	F	97
結城七菜 (法政大学)		84
賛田 佳穂 (法政大学)		

## 一般女子ダブルス

鈴木・山本 (ASP港南台TS・GODAI白楽)	SF	85
結城・松井 (法政大学・法政第二高校)	F	85
森・市瀬 (在住・ラック港南台TG)		82
賛田・矢沼 (法政大学・あざみ野LTT)		

## 男子45歳以上シングルス

岡田 要 (三菱電機)	SF	84
代田 和洋 (とつかTS)	F	98(4)
木村 俊康 (在住)		85
長田 祐治 (ケンウッドTC)		

## 男子45歳以上ダブルス

平岡・岡崎 (KTC・リコー)	SF	85
金本・脇谷 (GODAI港北・横浜ガーデンTC)	F	86
池谷・板橋 (ウエスタンTC・レニックス)		97
岩波・谷 (とつかTC)		

## 女子40歳以上ダブルス

梅田・森川 (リーファTG・メガロス横浜)	SF	85
小林・井根 (TGレニックス・Naturally Tennis)	F	85
池谷・奥山 (Vamos)		84
寺田・野口 (Team Coke)		

# 第23回 横浜市民体育大会ミックスダブルス

〔7種目の白熱した試合の連続〕

7種目に264組のエントリーがあり、2月5日(土)～3月3日(日)で開催しました。

ミックス大会は、夫婦ペアや同じクラブペアでの出場も多く、選手のみならず試合を楽しみながらのプレーが沢山見られました。勝負どころで白熱した手に汗握る試合に、駆け付けた沢山の応援の方の声援が

あり、試合会場は盛り上がっていました。試合日に2日間の降雨があり、順延になった選手の方にはご迷惑をおかけしましたが、都合を調整して参加していただくなど、参加選手、審判員、スタッフの全員のご協力のおかげで、無事大会を終えることができました。ありがとうございました。次回も沢山の参加をお待ちしています。

(大会ディレクター 大村 幸雄)

一般ミックスの部  
優勝

## この上ない達成感と嬉しさ

山本 優貴・宮 敦子(在住)

思い返せば横浜市民ミックス大会に初挑戦したのは6年前の第17回ミックスダブルス大会でした。毎年ベスト8の壁をなかなか越えられず、悔しい思いをしていましたがついに初優勝をすることが出来ました。この上ない達成感と嬉しさを感じています。

毎年お誘いをしてくださる宮さんには感謝しかありません。今回、お誘いの連絡を受けた際に「私、一般は今年で最後かな」とおっしゃられていたので自分の中ではまずは最高成績のベスト8を超えて最終日に残ることが自分の中での目標となりました。

毎試合、必ず僕よりも若い方が相手に居て球威や機動力に苦戦を強いられましたが、粘り強く球際まで諦めないペアの宮さんの頑張りにも何度も救われました。

大会前に一般は今年が最後かなとは言っていましたが、優勝できたことで恐らく来年も一般カテゴリーに挑戦するのではないかと思いますので次回、対戦される皆さん是非ともよろしく願っています。

末筆ですが、今大会を開催、運営に従事してくださいました役員、職員の皆様に。また、対戦して下さった選手の皆様。そして会場で応援していただいた皆様に心より感謝を申し上げます。また来年、この大会で皆さんと楽しくテニスが出来ることを心待ちにしております。(山本 記)



【一般ミックス】山本・宮組、松浦・橋本組の各選手

90歳以上ミックスの部  
優勝

## 満身創痍の連覇

高野 晃彰・高野 陽子(トップ横浜)

日没や雨天など今年の大会運営は大変だったのではないのでしょうか。まずは御礼申し上げます。

今年は夫婦共にコンディションが悪く、試合に向け体調を整えるかに注力した大会でした。

決勝戦は強敵でロングラリーが多く身体は削られる一方、そんな中でも勝つたのはペア結成20年以上の経験と信頼。年齢と共に個々のプレーの質は落ちていきますが、ペアの相乗効果は上がっているのかもしれない。

テニスは一生のスポーツと言われますが、一生やるにはそれなりの体調管理は重要です。また来年ここに戻ってこられるよう夫婦で頑張りたいと思います。(晃彰 記)



【90歳以上ミックス】高野・高野組、鈴木・岩下組の各選手

100歳以上ミックスの部  
優勝

## 素晴らしいパフォーマンス

青山 昇・小林 美幸(希望が丘TC・TGRニック)

まず初めに、雨天等順延もあるなか今大会に運営にご尽力いただきました協会、関係者の皆様に感謝申し上げます。そして、練習を重ねてきましたクラブ、サークルの方々にも感謝申し上げます。

試合ではペアの素晴らしいパフォーマンスのおかげで何度も助けてもらい勝つことができました。皆様ありがとうございました!(青山 記)



【100歳以上ミックス】青山・小林組、遠藤・山本組の各選手

110歳以上ミックスの部  
優勝

## 初参加の横浜市民大会

岡本 賢太 吉川 真理(在勤・Naturally Tennis)

初参加の横浜市民大会。MIXダブルス大会は7クラス中5クラスが64ドロ！こんなにたくさんの試合をスムーズに運営進行していただいたスタッフ及び大会関係者の皆様に感謝申し上げます。

硬式テニス歴の浅い私はダブルスの楽しさを取手中です！今回6組の対戦相手の方々からたくさんのテニスを学ばせていただき、ペアの岡本さんとはポイント表ごとに会話をし、的確なアドバイスをもらうことで私の出来る事は全てを出して！なんとか最後まで勝ち切ることができました。この優勝は私の大きな自信となりました！テニスはほんとに楽しい！いつも練習してくれる仲間や応援して下さる方々に感謝します。この大会にぜひまた、参加させていただきたいとおもいます！ありがとうございました。(吉川 記)



【110歳以上ミックス】岡本・吉川組、岡部・岡部組の各選手

120歳以上ミックスの部  
優勝

## 年間グランドスラム達成!

加藤 満 信近 三恵(下川井TC)

まず初めに、今大会をスムーズに運営していた協会役員および関係者の皆様に心から感謝申し上げます。ペアの信近は、女子55歳単複での優勝に続き、本大会のミックス大会でも優勝し、年間グランドスラム(もし存在するならば?)を達成しました。彼女の日々の熱心な練習の成果であり大変素晴らしい戦績の1ページを作りあげました。

実は、私自身、ミックス公式戦への参加は初めてでした。ペアを組む機会をいただいた際には、勝利の鍵は何かさえもわからない状況でした。しかし、日々の練習を積み重ね、最終的には優勝することができたことを心から喜んでいます。

下川井TCの皆様には、たくさんの励ましの言葉

や練習の相手をしていただき、本当に感謝しています。改めて、ありがとうございました。

ミックスの大会は勝っても負けても、会場がお祭りのような雰囲気であることが特筆すべき点です。来年も是非参加させていただければと思います。(加藤 記)



【120歳以上ミックス】加藤・信近組、福本・東方組の各選手

130歳以上ミックスの部  
優勝

## 3年連続優勝

村田 泰造・住田 里美(Vamos)

例年ですと、この大会が近づく1か月前からペアでの練習をかなりするのですが、今回は殆ど練習をすることなく、不安でいっぱい試合スタートとなりました。そのような中、昨年・一昨年と連発優勝することができ、3年連続優勝がかかった今年の試合でもペアの住田さんが男性の力強いボールをミスなくしっかりレシーブをし、私の甘いボールもキャッチ。そのおかげで私は思いきりプレーを楽しむことができました。

この様にテニスを楽しむ存分プレーできる状況を作ってくれるペアに感謝するとともに、いつも私達の試合を楽しみに必ず応援にかけて来てくれる友人にも感謝致します。(本当にありがとう)

最後になりましたが本大会を開催し運営頂いた審判らびに大会関係者の皆様に深く感謝申し上げます。(村田 記)



【130歳以上ミックス】村田・住田組、田村・富山組の各選手

140歳以上ミックスの部  
優勝

## 二人で叱咤激励から鼓舞激励へ

石原 昭雄・石崎 紀子(ユニークス本校)

横浜市民大会という大きい大会において優勝出来た事は大変嬉しく思っています。

対戦相手(倉田・鈴木ペアは前年度優勝)で前年度はSFで一方向的に敗れました。今年は 1-1から3セット13-11と僅差の勝利でした。結果的には昨年のリベンジが出来たとほっとしています。これからも健康には気を付けてテニスを楽しみたいと思います。

最後に審判の方・運営の皆さんには(雨で2回の順延などあり)大変お世話になり本当に有難うございました。(石原 記)



【140歳以上ミックス】石原・石崎組、倉田・鈴木組の各選手

■一般ミックス■

井上 創太・内藤 亜美 (在任・在住) QF SF F  
 山本 優貴・宮 敦子 (在任・在住) 64 26 76(4) 61  
 熊澤 大修・熊澤 礼実 (Y球会・金沢高校OBOG会) 10-8 46 63  
 大友 直・溝口 陽香 (在任・在住) 63 63 46 63  
 栗山 大輔・栗山 萌央 (在任・在住) 61 64  
 鈴木 健人・古川 聖奈 (とつかTC・在勤(メカロス横浜天王町)) 46 75  
 松浦 延慶・橋本 舞 (在任・レニックスTG) 10-7 75 76(4)  
 杉山 雄希・鹿島 璃子 (在任・在住)

**優勝**  
**宮山 本優貴(在任)**  
**敦子(在住)**

■100歳以上ミックス■

青山 昇・小林 美幸 (希望が丘TC・TGLレニックス) QF SF F  
 高橋 尚久・東原 桃代 (龜の甲山TC) 97 60 61  
 石井 宏昌・新美 友紀 (YITC・希望が丘TC) 83 63 62  
 植松 準・中田 涼子 (在任・在住)  
 出井 晃・佐治 令子 (在勤・在住)  
 河西 雅弘・神田 玲央 (ポーテ・Team Coke)  
 遠藤 隆史・山本 愛実 (あざみ野TC)  
 日野 哲也・金子 和代 (希望が丘TC) WO 26 62 10-5

**優勝**  
**青山 昇(希望が丘TC)**  
**小林 美幸(TGLレニックス)**

■120歳以上ミックス■

飯沼 哲也・山内 文子 (テニスプラザ戸塚) QF SF F  
 石川 栄・大久保 圭子 (在住・下川井TC) 83 64 62  
 加藤 満・信近 三恵 (下川井TC) 81 63 62  
 鶴間 俊彦・長沼 由紀子 (在住・BLACK SOCKS)  
 福本 哲・東方 真実子 (KMGTS) 84  
 大野 建二・本間 陽子 (team WEST・希望が丘TC)  
 市川 達次・黒木 喜久江 (下川井TC) 97 63 63  
 大石 敏晴・野崎 真理子 (YITC)

**優勝**  
**信近 三恵(下川井TC)**  
**満(下川井TC)**

■90歳以上ミックス■

高野 晃彰・高野 陽子 (トップ横浜) QF SF F  
 九里 孝之・九里 一美 (ルネサンス天王町) 83 63 62  
 盛 将孝・太田 良美 (GODAI白菊) 81 64 46 10-7  
 早坂 幸雄・早坂 由佳 (龜の甲山TC)  
 鈴木 信孝・岩下 江里 (Team Coke) 84 63 63  
 矢沼 雅士・堀井 有岐 (在任・在住)  
 宮 桂・小林 春菜 (TGLレニックス・在住)  
 池谷 智隆・池谷 綾子 (ウエスタンTC) 84

**優勝**  
**高野 晃彰(トップ横浜)**  
**陽子(トップ横浜)**

■110歳以上ミックス■

横光 攻・本間 恵理子 (在任・在住) QF SF F  
 岡部 正治・岡部 智子 (横浜スポーツマッククラブ) 85 64 75  
 大松 剛・古川 美幸 (希望が丘TC) 82 60 61  
 高田 大介・奥山 律子 (アレスマイスター)  
 岡本 賢太・吉川 真理 (在勤・Naturally Tennis)  
 星野 哲也・小田島 冨み (在任・在住)  
 伊村 裕治・安東 美和 (在任・在住)  
 田中 久敏・倉掛 順子 (AGC庭球倶楽部) 84 62 64

**優勝**  
**岡本 賢太(在勤)**  
**吉川 真理(Naturally Tennis)**

■130歳以上ミックス■

村田 泰造・住田 里美 (Vamos) SF F  
 小林 孝好・宮原 章子 (サンブリックTC本郷) 62 62 62 63  
 三上 圭一・上島 恵理 (テニスプラザ戸塚)  
 田村 正・富山 千恵子 (ラック港南台TG・横浜カーデンTC) 63 63

**優勝**  
**村田 泰造(Vamos)**  
**住田 里美(Vamos)**

倉田 幸一・鈴木 聡子 (港南カーデンTC・ヨコハマクラブ) SF F  
 西村 浩・照沼 光代 (ウッドテニス) WO 76(8) 16 13-11  
 鈴木 賢二・十二 直子 (チームウィンF)  
 石原 昭雄・石崎 紀子 (ユニークス本郷) 62 62

**優勝**  
**石原 昭雄(ユニークス本郷)**  
**石崎 紀子(ユニークス本郷)**

■140歳以上ミックス■

倉田 幸一・鈴木 聡子 (港南カーデンTC・ヨコハマクラブ) SF F  
 西村 浩・照沼 光代 (ウッドテニス) WO 76(8) 16 13-11  
 鈴木 賢二・十二 直子 (チームウィンF)  
 石原 昭雄・石崎 紀子 (ユニークス本郷) 62 62

**優勝**  
**石原 昭雄(ユニークス本郷)**  
**石崎 紀子(ユニークス本郷)**

第75回 横浜市実業団対抗テニス大会

男子優勝:横浜市役所C、女子優勝:神奈川県庁A

2023年8月から12月にかけて第75回横浜市実業団対抗テニスを開催しました。成績は1部リーグにおいて、男子:横浜市役所C、女子:神奈川県庁Aが優勝しました。

2023年春季の第71回(女子第33回)神奈川県実業団対抗テニスリーグ(A大会)では、横浜代表チームは、男子1部で横浜市役所が準優勝、神奈川県庁Aが4位、女子1部で横浜市役所が準優勝、AGC中研が3位の成績でした。2023年12月の第95回神奈川県実業団対抗テニス大会(B大会)では、男子の横浜市役所Cが3位の成績でした。

第76回横浜市実業団対抗テニスは3月から6月まで開催中で、64チームが市営公園コートや事業所コートなどで上位を目指し競っています。

【第75回横浜市実業団対抗テニス大会の成績】(各部の優勝チームのみ記載)

●R5年8月~12月 参加69チーム(男58+女11) ●R5年度運営事務局:三菱重工横浜

男子優勝:横浜市役所C、準優勝:ニッパツ、第3位:野村総合研究所B

《男子優勝(部別)》	
1部:横浜市役所C	3部B:三菱ケミカルSIC-B
2部A:ブリヂストンB	4部A:日本飛行機
2部B:大東建託横浜A	4部B:神奈川県庁かなふう
3部A:神奈川県庁カモメン	5部-1:GODAIスポーツアカデミー
	5部-2:横浜信用金庫

女子優勝:神奈川県庁A、準優勝:三菱ケミカルSIC-B、第3位:日立戸塚

《女子優勝(部別)》	
1部:神奈川県庁A	2部:千代田化工

★大会の結果については協会ホームページに詳しく掲載されています。

審判講習会について

2024年度も審判講習会を開催します。審判員に興味のある方、大会運営に関わってみたい方など、この機会にいかがでしょうか。テニスのルールは、毎年少しづつ変わっています。2022年度にはスマートウォッチの試合中の着用禁止が明記されました。2023年度には男子ダブルスで3セットマッチの際のトイレット

ねんりんピック



横浜市代表チーム(左から)関場監督、男子70歳藤島・金子組、女子60歳占部・長島組、男子60歳北村・白井組

【笑顔の愛媛2023ねんりんピックに参加して】

10月27日からテニスの大会終了まで、4日間愛媛県松山市に滞在しました。4日間の楽しかった思い出とほろ苦い思い出を記憶をたどって書いてみます。27日 テニスを楽しむ気持ちと(もちろん夢は大きく優勝)松山でのおいしい食べ物、お酒と温泉を楽しもうと羽田を出発しました。(忘れていた蛇口から出るミネラルジュース)。14時30分ごろ決勝の地、松山に到着、懇親会に出席し、横浜市の代表と連帯し決起表明、一日目が終了しました。

28日、晴天に恵まれ開会式に参加しました。29日、テニスの試合(ダブルス3チームの団体戦)です、初めての本格的な大会参加のため緊張が極度に増してきました。4チームごとのリーグ戦が始まりました。わが横浜チームは、私70歳代が先鋒で試合に臨みましたが惜しくも3-4でタイブレーク負け、あとに続く選手に勢いをつけられず第一戦香川県に0-3でチームは負け熊本市、大阪市にも1-2で負け0-3で4位が決まっしまいました。ホテルに帰り残念会、反省会を行い30日の4位トーナメントに希望(チーム1勝)を持って痛飲しました。

30日、1回戦は念願の1勝を得ましたが、2回戦で負けてしまい、ほろ苦い思い出が残りました。最後になりましたが大会スタッフの皆さん大変ありがとうございました。(金子 武夫)

ブレイクが、ペアで2回から1回に変更になりました。その他にもこんな時はどうなるの?というケースもあります。気になった方は是非参加して、ご質問ください。審判員資格を取ってSCU(ソロチェアアンパイア)やラインアンパイアになれば日本リーグやジャパンオープンで観客よりも近くで選手を見ることも出来ますよ!

2024年度の横浜市審判講習会開催予定日は、6/16と9/1。今年度は2回とも潮田公園となります。(詳細は後日、横浜市テニス協会ホームページに掲載します!)

横浜スポーツ表彰の受賞

令和5年度(公財)横浜市スポーツ協会の表彰式が1月26日(金)に横浜武道館で開催されました。テニス部門では次の方々各賞を受賞されました。

【スポーツ功労賞】小島 淳様(協会副理事長)は長年の協会業務の貢献を認められスポーツ功労賞を受賞された。同氏は長年協会運営に携わり、横浜のテニスの普及、発展に寄与し、特に市民テニス教室、ジュニア競技力向上事業、テニスの日などのイベントの運営等に尽力され、テニスの普及、発展に貢献されてきた。

【優秀選手賞】原口 礼様(平戸小学校)全日本ジュニアテニス女子シングルス優勝  
 中島 一輝様(根岸小学校)全国小学校テニス選手権大会男子シングルス優勝

【スポーツ奨励賞】境 真由美様(横浜スポーツマッククラブ)全日本ベテラン70歳以上ダブルス優勝



左から小島淳様 原口礼様 中島一輝様

# 第30回 横浜ジュニアテニストーナメント

今回は雨天により一部2月4日にずれ込んだが、概ね順調に終えることができた。小学生女子は、技術・体力の勝る第1シードの吉永選手が危なげなく五嶋選手をくだした。小学校男子は、石塚選手の切れのいいショットが効果的で、吉田選手に快勝した。中学校女子は粘り強いラリーの応酬となったが、濱崎選手のショットが上回り上村選手に勝利した。中学校男子は、中野選手が強打で攻める越智選手をしごき切って勝った。高校女子は第1・第2シードの決勝となったが、鹿島選手の踏み込んで打つ圧倒的なパワーで後藤選手を粉砕した。高校男子は両者ともよく走り応酬する見応えのある試合だったが、佐藤選手攻撃力が上回って佐々木選手勝利した。

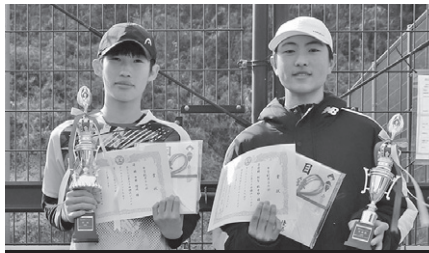
今回残念だったのは、小学生の初日が雨で延期となり、その影響で多くの棄権者が出たことだ。元々出場者も少なく女子は8人での試合となった。順延日は当初から決勝予定日であり、日程調整をして参加していただきたかった。(大会レフェリー 近野朗生)



【高校生男子】佐藤選手(優勝)、佐々木選手(準優勝)



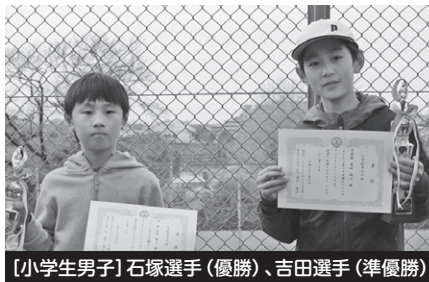
【高校生女子】鹿島選手(優勝)、後藤選手(準優勝)



【中学生男子】中野選手(優勝)、越智選手(準優勝)



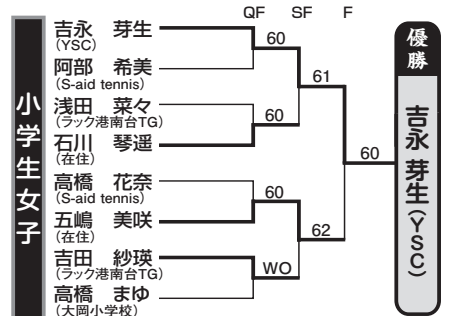
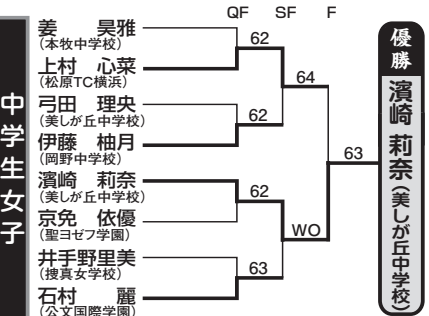
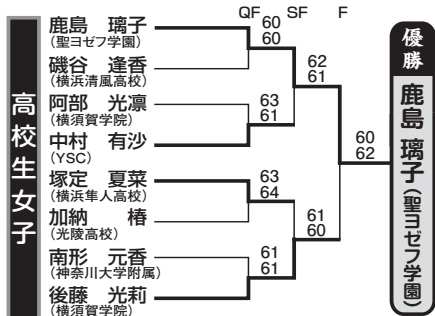
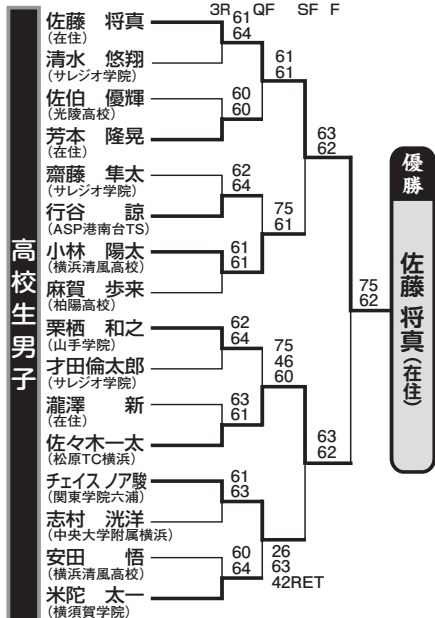
【中学生女子】濱崎選手(優勝)、上村選手(準優勝)



【小学生男子】石塚選手(優勝)、吉田選手(準優勝)



【小学生女子】吉永選手(優勝)、五嶋選手(準優勝)



## 市民テニス教室



この事業は横浜市テニス協会及び横浜にぎわいスポーツ文化局、(公財)横浜市スポーツ協会主催で開催され、長年にわたり市民のテニス愛好家の皆さんにご好評をいただいています。令和5年度は本牧市民公園コート8面で実施し、天候にも恵まれ全6回午前、午後合わせて延べ544名の方にご参加いただきました。

次年度も多くの方々にテニスを楽しんでいただけるよう、スタッフ一同皆様のご参加をお待ちしています。4月から開催しますが、途中からのご参加も可能ですので、横浜市テニス協会ホームページ等で実施要項をご確認いただき、万障繰り合わせの上でご参加くださいますようお願い申し上げます。





## 新テニスプレーヤーのためのスポーツ医学③

## テニスにおける膝の障害

## ～膝にたまった水は抜く?～

横浜スポーツ医会所属医師 吉田 医院 吉田 徳



テニスのシングルス1試合あたりの走行距離は約4.8kmとされています。

野球:0.7km、アメフト:2.01km、バスケットボール:4.67km、テニス:4.83km、サッカー:11.27km

※Distance Run Per Game in Various Sports.

<https://www.runnersworld.com/runners-stories/a20783609/distance-run-per-game-in-various-sports/>

私自身がトラックで測定してみたところ6ゲーム1セットマッチにて3セットで11.4kmでした(あれ、走りすぎ?)。テニスで走っている状況は前後左右切り返し運動の繰り返し動作です。ストップ&ゴーを繰り返すことによる膝を含めた下肢の負担は大きいでしょう。

テニスはオーバーユースによる膝周囲の慢性障害、ハムストリングス、腓腹筋の肉ばなれの発症頻度は高い反面、接触プレーやジャンプによる空中の競り合いが無いため、膝靭帯障害の発症頻度は比較的lowです(起きないわけではありません。スリップした際の過伸展等で起きるときは起きます)。競技年数が長くなると加齢性変性を伴った半月板損傷、変形性膝関節症を発症することもあります。

## 膝に水がたまった!!

外来で多く聞かれる質問の1つに「水を抜くとクセになりませんか?」があります。

答えから言うと、「炎症が起きているために水がたまるのであって、水を抜くこと自体がクセになるわけではありません」(=炎症が収束すれば水はたまりません)です。

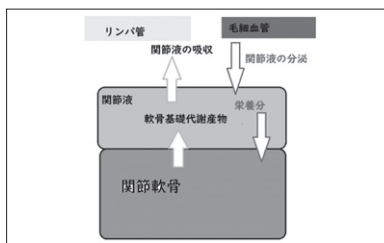
膝に水がたまるといいますが、なぜ膝に水がたまるのでしょうか?そもそも、その「水」ってなに?

健康な膝は、関節液という液体で満たされています。

関節液は軟骨に栄養を与え、関節が動くときのすべりを良くする働きがあります。また、関節にかかる圧力を分散させる働きがあります。健康な膝では、滑膜の中にある毛細血管から関節液が分泌され、関節軟骨に栄養分が渡されます。関節軟骨は、栄養分を受け取ると、基礎代謝物(老廃物)を関節液の中に分泌します。

一定量以上の関節液は基礎代謝物を伴ってリンパ管の中へと吸収され、関節包の中の関節液の量は一定に保たれます。ところが、加齢や外傷(ケガ)などによって関節表面の軟骨がすり減ると、軟骨表面のすべりが悪くなってきます。そうすると、滑膜が炎症を起こし、本来あるべき量以上の関節液を分泌するのです。

結果、関節液の吸収が追いつかなくなり、関節包に関節液がたまってきます。膝に水がたまったというのは、こういう状態です。水の正体は炎症を起こした関節液というわけです。



膝のお皿の上、膝蓋上嚢という部分は膝の関節の上であり、ゆとりがあるので、そこに水がたまりやすくなっています。膝のお皿の上から押しみると、お皿が浮き上がってくる感じがあります。この浮き上がり感があれば、水がたまっています(膝蓋跳動)。左右の膝のシワの数でも比較できます。



では、このように水がたまった場合にはどうすればいいのでしょうか。

対症療法としては、包帯やサポーター等で圧迫する方法があります。

変形性膝関節症は、慢性的な痛みになる場合が多いので、保温に努めた方が良いでしょう。

外傷由来でも膝の動きは悪くなっていることが多いので、「慢性的な経過」の場合は温めた方が良いでしょう。急性期外傷の場合は温

めないでください。

そこで「水を抜くとクセになりませんか?」です。

注射によって水を抜くという治療自体がクセになるわけではなく、注射で水を抜いたとしても、関節内の炎症が治まらず関節液が出続けるので、関節液がどんどんたまり、また膝が腫れるということになるのです。

つまり、炎症が治まらないことが問題なのであって、注射で水を抜くこと自体に問題があるわけではありません。

最優先に考えなければならないのは、膝の炎症を抑えることです。

炎症を抑えるためには、膝への負荷を軽減するために体重が超過している場合は減量に取り組む、大腿四頭筋周囲の筋力訓練をする、関節内にヒアルロン酸注射や局所麻酔剤と少量のステロイドを混合したものを注射する、などがあります(もちろん、器質的疾患があり、手術が必要な場合は手術します)。

水を抜いたからといって関節軟骨が修復するわけではありません。ただ、水がたまった状態は、痛みを伴う(関節内圧が高いため)関節可動域の低下があり、水を抜くことで内圧が下がり痛みが和らぎ、可動域制限が解除されるため行います。

抜いた水に剥離した関節軟骨が多く認められる場合は、繰り返し水がたまる傾向にあります(関節内がいつも炎症を起こしている状況だから)。

怪我などにより、関節内に血がたまって痛い場合も同様です。血を抜いて、関節の内圧を下げることによって痛みが和らぎます。

## 人工膝関節置換術後はテニスができない?

最後に少しだけ。外来でよく聞かれる質問その2です。25年ほど前は、人工関節置換術を受けたらスポーツ活動はすべきではないとされていました。近年は人工関節置換術後、ローインパクトのスポーツ活動(ウォーキング、サイクリング、水泳、ヨガ、ピラティス)はむしろ推奨される傾向です。

テニスに関しては診察をした上で、テニス経験があるプレーヤーで、膝に負担をかけない程度の加減がコントロールできるのであれば、ダブルスならプレーは可能と考えています。

膝ではありませんが人工股関節手術をし、今も一線でプレーしているアンディ・マレーは稀有な存在ですが、彼の老後を心配しています。

## テニススクール実施中

◎(公財)横浜市体育協会主催のテニス教室◎

新横浜テニスコートで実施。コートサーフェスはUSオープンで使用されているものと同じデコターフです。詳しくは当協会のホームページをご参照下さい。

参加者募集中  
外国人を誘って  
出場しませんか?

## 第36回 インターナショナルダブルストーナメント

「日本庭球発祥之地」横浜にふさわしく、テニスを通じて国際親善を深める大会があるのをご存知ですか?

横浜市テニス協会も後援しています。外国人とペアを組んで奮ってご出場ください。

- 期日:5月18日(土)、5月19日(予備日)●男子ダブルス32組(神奈川県知事杯)・ミックスダブルス24組(横浜市長杯)になり次第締め切らせていただきます。都合によりエントリー数は予告なく変更される場合があります。●資格:ペアの少なくとも1人は日本国以外のパスポートをもつこと
- 料金:1組10,000円(昼食込み)を所定の銀行口座振込。●場所・申込・問合せ先:公益社団法人横浜インターナショナルテニスコミュニティ(YITC)〒231-0862横浜市中区山手町230 電話045-681-9528, e-mail: yitc@tennis.interq.or.jp 申込締切:4月25日(木)午後3時
- 申込み方法:YITCのHP <http://www.yitc.org> からお申込みください

